

令和8年3月 自己評価結果 (D-Kidsプラス大佐野教室)

厚生労働省が定める「放課後等デイサービスガイドライン」に基づいて定期的に自己評価を実施しています。
この自己評価結果、また保護者様からいただいたご意見・ご要望をもとに、業務・サービスの改善をして行くことを目的としています。

	チェック項目		取り組み状況
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室スペースとの関係で適切であるか	法令を遵守したスペースを確保しています。
	2	職員の配置数が適切であるか	法令で必要とされる配置を行っております。
	3	事業所内の安全対策が十分にとられているか	設備・遊具等危険がないか毎日チェックしています。
	4	事業所内の衛生環境は常に保たれているか	毎日営業開始前に、チェックシートに基づき清掃・消毒等行っています。送迎車の清掃にも力を入れております。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	毎朝の朝礼や月々の事業所ミーティングにて、目標・支援方針の確認を行っています。
	6	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者様向けのアンケートを実施し、満足度調査を行い、業務・サービス改善に役立てています。
	7	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	当社ホームページにて公開しています。ご確認いただけますと幸いです。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	現在第三者による外部評価は行っておりませんが、社内の自己評価と別に3ヶ月に1度内部監査を実施しています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	年間研修計画に沿って概ね月に1度社内研修の実施、定期的に外部研修への参加も実施しています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	相談支援事業所など関係機関との連絡調整も行いながら定期的にアセスメントを行い支援計画を作成しています。統一したアセスメントシートを使用しています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	
	12	活動プログラムの立案をチームで行っているか	
	13	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	①自立支援と日常生活の充実のための活動 ②創作活動 ③地域交流の機会の提供 ④余暇の提供
	14	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	ガイドライン総則にある基本活動である上記をふまえて、個別支援計画や児童の状況等を考慮して、当事業所のコンセプトに沿って多様なプログラム計画を立てています。
	15	ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っているか	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで放課後等デイサービス計画を作成しているか	個別指導・集団指導のコースの他に、個々の支援計画に応じて個別サポートを実施しています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	早朝ミーティングにてリーダーを中心に各自の役割分担を把握できるような体制をとっています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	優先度の高い課題に関しては当日中に、それ以外の共通事項などは振り返りを行い、管理者チェックのもと全従業員で共有できる仕組みをとっています。
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	正しい記録をとるためのルールを整え、共有し、早朝ミーティングでの共有、随時研修も行っています。
	20	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	少なくとも半年に一回、また必要に応じてモニタリングを実施しています。